

永年の功績 栄えある受賞

小澤藤夫さんに旭日単光章

元川根本町選挙管理委員会委員長の小澤藤夫さん（梅高区）に旭日単光章が授与され、平成29年11月6日、静岡県庁にて川勝県知事から伝達されました。

小澤さんは、平成9年1月、中川根町選挙管理委員会委員に就任し、以来5期20年10カ月にわたり、町長選挙や町議会選挙、国政・県政選挙の執行に携わり、正確かつ公正な選挙に尽力されました。

また、平成10年から15年間は、委員長として、選挙の執行管理とともに住民の選挙への参加意識の向上に貢献されました。

この功績が認められ、今回の受章となりました。



和田邦重さんに瑞宝双光章

元本川根町助役の和田邦重さん（田代区）に瑞宝双光章が授与され、平成29年11月6日、静岡県庁にて川勝知事から伝達されました。

和田さんは、本川根町職員として昭和30年10月からの37年3カ月間、卓抜なる識見をもって地方自治の伸展に尽力されました。

その後同町の収入役・助役を10年間務め、豊富な行政経験、強い信念と類まれなる実行力と決断力をもって地域の発展および住民福祉の発展に大きく貢献されました。

この功績が認められ、今回の受章となりました。



板谷信さんに静岡県知事表彰

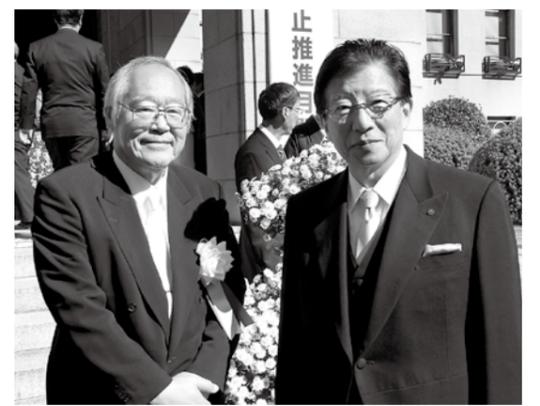
平成29年11月3日、静岡県庁において静岡県知事表彰式が行われ、板谷信さん（地名区）が受賞されました。

板谷さんは、中川根町議会議員および川根本町議会議員として、6期20年あまりの永きにわたり地方自治の進展に貢献されました。

議員在職中には、特に議会基本条例の制定や定住対策のための宅地造成、町営バスの運行、福祉サービスの充実などに尽力されました。

また、国民健康保険運営協議会会長、社会福祉協議会副会長など、多年にわたり要職を務められました。

これらの功績が認められ、今回の受賞となりました。



「町長と語る会」を開催しました

11月26日、山村開発センターにて「町長と語る会」（「千年の学校」公開講座）を開催し、町内外から約30人が出席しました。

鈴木町長からは「世界に認められた地域資源をまずは町民に認識してもらうことで、この町に住むことに誇りをもってもらいたい」「数々の伝統・文化を継承していくための伝承館の建設を予定している」「今後もこの町が存続していくためには川根高校・医療機関・大井川鐵道の3つが必要不可欠であり、これにはICT環境を最大限に活用していく」「カヌーのまちを再建していきたい」などといった今後のまちづくりへの抱負が述べられました。

【出席者からの質問や意見】

▼公共施設の有効な活用方法を検討すべき。

▼町の将来を支える若者の声を吸い上げ、町政に反映させてほしい。

▼自然エネルギーを活かし、地域経済の活性化を図るべき。

▼人口流出を食い止めるための施策を講じてもらいたい。

▼空き家を町が買い上げ若い世代に格安で貸し出してほしい。



コーディネーターを務めた静岡文化芸術大学の黒田宏治教授からは「千年の学校」の取り組みを活かし、これまで培われた地域の伝統・文化をさまざまな交流を通じて未来に繋いでいく仕組みづくりを構築するとともに、『南アルプスユネスコエコパーク』や『日本で最も美しい村』連合について住民がきちんと理解する中で、プロモーションの向上を図っていくことが課題である。個々の課題を議論して解決策を見出し、できるところから取り組んでいくための踏み出す一歩になることを願う」と講評がありました。

今年度は、「千年の学校」の取り組みとして、1月から3月の間に「静岡の茶草場農法」「日本で最も美しい村連合」「南アルプスユネスコエコパーク」に関する講座を開催する予定です。全て公開講座として開催しますので、どなたでもご参加いただけます。

来年度は、入校学生を募集し、さまざまな町の資源をテーマとして、年間6回程度の基礎講座を開催します（平成30年9月頃の開校を予定）。

企画課・まちづくり推進室 ☎(56)22221

力を合わせて 災害に強い地域へ

町内各地区で防災訓練を実施

12月3日、町内各地区にて地域防災訓練が行われ、合わせて3741人が参加しました。

各地区では自主防災会を中心に、防災資機材の取り扱い確認や初期消火訓練、応急手当講習、炊出し訓練などを実施しました。

参加者は、自分と家族の命は自ら守る「自助」と、皆で助け合い支えあう「共助」を主体的に実践し、地域防災力の一層の向上を図りました。

田野口区では、水を噴射する訓練用消火器や小型ポンプを使用して初期消火訓練を実施しました。



総務課・自治防災室 ☎(56)22220

総務課・行政庶務室 ☎(56)22220